

イントロダクション

1 講座の概要

(1) 対象

難関大学(旧帝大・早慶上智など)を目指しているが、イマイチ模試の成績が上がらない人。目安としては、記述模試の偏差値：60くらいです。

(2) 特徴

その1 題材の選定

難関大で下線部がひかれた英文のなかでも、とりわけ多くのポイントが学べる英文を題材としています。東大・京大・阪大・一橋大・早慶の過去問が中心です。難しく感じられる英文も多くあるかもしれませんが、ビビらずに取り組んでみてください。予習の際には正しく読めなくても、入試本番できちんと読めるようになれば良いので。

その2 生徒目線の解説

ただただ、英文の構造を説明する といった教師目線の授業ではなく、「どのような思考をすれば、英文の構造を正しくとらえ、合格点のとれる和訳が書けるのか」に焦点をあてた授業を展開します。

(3) part 1 について

Part 1 では、接続詞と文型を扱います。超基本事項でありながら、なんとなく読みがちな分野です。また、和訳のコツや未知単語の類推方法なども教えていきます。

2 成績を up するためには・・・？

勉強しているのに、模試の成績がイマイチ上がらない・・・という人に多い勉強法が、「英文を現代文と同じように、なんとなく読んでしまう」ということです。しかし、そのような読み方をしている人は、難関大入試で合格点をとることはできません。では、どうすればよいのか・・・？ 「英語を第二言語であると認識し、理論を学び、それを実践していく」のです！ この講座では、「理論」を教えていきます。ですから、みなさんは、問題集等で「理論」を使って英文を読む練習＝「実践」をしてください。

3 予習・復習のしかたなど

(1) 予習について

動画の最初に、予習する問題を指定します。古い題材については、予め板書しておきますので、それをノートなどにうつしてから、問題にとりくんでください。新しい題材(2012年度～2014年度の問題)に関しては、予備校のサイトから、各自でダウンロードして問題を解いてください。

(2)授業について

授業の形態としては、板書型の授業です。ですから、ノートを用意していただくとよいかと思います。必要な事柄は、すべて板書にまとめていきますので、それ以外の内容については特に書き取る必要はありません。

(3)板書について

チョークの使い分けとしては、重要なポイント・語彙を黄色・オレンジ・緑(重要度は黄色が最も高い)で、文型を青で、語彙を緑 or 白で板書していきます。ですが、ポイントとしてまとめた内容についてはすべて重要な事柄ですので、チョークの色に関係なく覚えてください。なお、[]: 名詞のかたまり < >: 形容詞のかたまり (): 副詞のかたまり を表します。

(4)復習について

まずは、板書の内容を暗記してください。その上で、英文を繰り返し読み直してください。音読も有効ですよ！英文を正しく読む「理論」を習得したら、学校の課題や市販の問題集等で、「理論」を使って英文を読む練習をしてください。